

**製品名: LMAN1 (7S8) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe13352**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:20-1:50
分子量	58kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LMAN1
別名	ERGIC5; F5F8D; FMFD1; Gp58; Lman1; MCFD1; MR60;
遺伝子 ID	3998.0
SwissProt ID	P49257
免疫原	ヒト LMAN1 の合成ペプチド

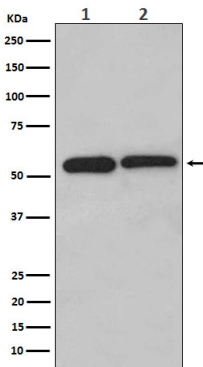
**背景**

マンノース特異的レクチン。糖タンパク質、糖脂質、またはグリコシルホスファチジルイノシトールアンカーの糖残基を認識し、タンパク質、脂質、またはその両方の選別やリサイクルに関与している可能性があります。LMAN1-MCFD2 複合体は、選択されたタンパク質のERからゴルジ体への輸送において、特異的なカーゴ受容体を形成します。マンノース特異的レクチン。糖タンパク質、糖脂質、またはグリコシルホスファチジルイノシトールアンカーの糖残基を認識し、タンパク質、脂質、またはその両方の選別やリサイクルに関与している可能性があります。LMAN1-MCFD2 複合体は、選択されたタンパク質のERからゴルジ体への輸送において、特異的なカーゴ受容体を形成します。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) Jurkat 細胞溶解物における LMAN1 発現のウエスタンブロット解析。